



図2. ネズミサシ(西宮市仁川町).

兵庫県内では三木市, 宝塚市, 神戸市, 三田市などの記録があるが, 西宮市では初の記録になると思われる。

三木市の報告(三木, 1979)では「本種は幹がまっすぐ上に伸びた建常木からは見出されず, いずれも道路際などの, 地を這うようなひねた木の直径2~3cmほどの枝部分から落ちた」

また京都府の報告(小西・新野, 2018)では「大半の個体は他の植物に囲まれて根元が日陰になっている高さ2~3m程度の木のやや上部から得られた」とあるが, 今回は幹がまっすぐ上に伸びた健常木(6~7m)の枝葉から得られた。

○参考文献

- 小西堯生・新野晃一郎, 2018. 京都府におけるケブカマルクビカミキリの新産地および生態に関する知見. 月刊むし(572): 22-24
- 廣田嘉正・三木三徳・八木正道, 2001. 兵庫県のカミキリムシ.
- 三木進, 1979. 兵庫県でケブカマルクビカミキリを採集. ELYTRA, 7(1): 16

(Kazuo KONISHI 兵庫県西宮市)

尼崎市でキマダラコヤガを確認

外村俊輔・上森教慈

キマダラコヤガ *Acontia trabealis* (Scopoli, 1763) は, 国内では北海道から九州にかけて分布するが(岸田, 2011), 主に河川敷などの良好な草原環境を選好する(京都府環境部自然環境保全課, 2015)ため, 生息域は局所的であるとされる. 幼虫の寄主として国外ではヒルガオ科のセイヨウヒルガオ *Convolvulus arvensis* L., 国内ではヒルガオ *Calystegia pubescens* Lindl. の葉が知られている(岸田, 2011; 手塚, 2019). 兵庫県内では近年まで記録がなく(高島, 2003), 2018年に小野市の加古川河川敷で初めて発見された(柴田, 2021). 今回, 筆者らは尼崎市の西武庫公園で本種を確認したため, 兵庫県内の新たな分布記録として報告する。

西武庫公園は武庫川河川敷に隣接する都市公園であり, 市民による分区園(花壇)がある. 筆者のうち上森が2023年8月18日の17時ごろに分区園を訪れた際, オミナエシ科のオミナエシ *Patrinia scabiosifolia* Fisch. ex Trevir. の花に訪花する本種を発見した(図1). 上森は以前から本地域のハチ相を調査しており, 訪花昆虫に注視していた. 今回, これまでに見覚えのない蛾を発見したため, 筆者の外村に写真を送り同定を依頼した. その後, 写真を確認した外村が本種と同定した。

1ex., 兵庫県尼崎市武庫元町西武庫公園, 18. VIII. 2023

本稿を執筆するにあたり, 文献を恵与いただいた長田庸平博士(大阪市立自然史博物館)に厚く御礼申し上げます。

○引用文献

- 岸田泰則(編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑II. 学研教育出版, 東京. 416 pp
- 京都府環境部自然環境保全課, 2015. 京都府レッドデー



図1. オミナエシに訪花するキマダラコヤガ.

タブック 2015 昆虫類. URL: <https://www.pref.kyoto.jp/kankyo/mokuroku/bio/insect.html> (閲覧: 2023年8月28日)

柴田剛, 2021. 小野市でキマダラコヤガを確認. きべりはむし, 44(1):94

高島昭, 2003. 兵庫県のコヤガ亜科. きべりはむし, 31(1):81-95

手塚浩, 2019. 蝶屋の楽蛾記 (V). 大昆 Crude, 63:6-11

(Shunsuke TOMURA 徳島県立博物館)

(Kazushige UEMORI 九州大学大学院生物資源環境科学府)



図1. 姫路市産アカマダラハナムグリ.

【標本記録】1♂, 兵庫県姫路市石倉 (姫路市石倉峯相の里), 11-V-2024, 花房高志採集・保管 (図1).

姫路市内でアカマダラハナムグリを採集

花房高志・榮藤巨輝・宮下直也

アカマダラハナムグリ *Anthracophora rusticola* Burmeister, 1842 はコガネムシ科の昆虫で, 幼虫が大型の鳥類の巣に依存するなど生息環境が特殊な希少種であることから, 環境省のレッドリスト (環境省, 2020) では情報不足, 兵庫県版レッドリスト (兵庫県, 2022) ではAランクに選定されている. 兵庫県内では, 加古川市 (柴田, 2018), 淡路市 (久保, 2012), 加東市 (山本, 2010) などの比較的新しい記録に加え, 古くは洲本市, 神戸市, 西宮市, 川西市, 旧氷上郡, 旧一宮町, 旧但東町, 旧出石町などで採集例があるが (高橋, 1984), これまで姫路市内での生息は確認されていない. 今回, 姫路市初記録であると思われる本種を採集したので報告する.

2024年5月11日午前11時頃, 姫路科学館の教育普及活動事業であるサイエンスエキスパート講座「昆虫の達人」の活動中に, クヌギの幹の樹皮の隙間に頭を突っ込んで樹液を吸っているオス1個体を発見した. 手に取って確認すると, 体表には若干のスレが見られたことから, 越冬個体であると考えられた. 本種を発見したクヌギは5月中旬であるにも関わらず, 周囲の広葉樹の中でもひときわ多く樹液を出しており, 本種の他にもコクワガタやヨツボシオオキスイが集まっていた. 展足後に体長を測定すると20.2mmあり, 本種としては大型の個体であった.

最後に, 施設内での昆虫採集について許可をいただきました姫路市石倉峯相の里の皆様にご礼申し上げます.

○引用文献

環境省, 2020. 環境省レッドリスト2020, (<https://www.env.go.jp/press/107905.html>).

久保弘之, 2012. 淡路島でアカマダラコガネを採集. きべりはむし, 35(1):43.

柴田剛, 2018. 兵庫県加古川市でアカマダラハナムグリを採集. きべりはむし, 41(1):28

高橋寿郎, 1984. 兵庫県のハナムグリ. てんとうむし, 219:8

兵庫県, 2022. 兵庫県版レッドリスト2022 (昆虫類), (https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/environment/leg_240/leg_289/2022).

山本勝也, 2010. アカマダラコガネ加東市での採集例. きべりはむし, 32(2):39.

(Takashi HANAFUSA 兵庫県姫路市)

(Koki ETO 甲南大学 自然科学研究科)

(Naoya MIYASHITA 姫路科学館)